

みか、さ

2025年7月

第73号

浄土真宗本願寺派
福岡教区御笠組



西福寺

西福寺 住職 和田法明
「山家」という地域は、江戸時代、長崎街道沿いの宿場町として栄えました。山家宿は九州の難所・冷水峠越えの宿場として、また、長崎街道、日田街道、薩摩街道が交差する迫分宿として、福岡・博多や一日市、太宰府、秋月、甘木、天領日田、松崎（現在の小郡）府中（現在の久留米）などと通じる交通の要衝でありました。

その山家に浄土真宗本願寺派（西本願寺）の西福寺があり、山号を桃溪山といいます。

西福寺は、二六（二）元和八（八）年久留米藩領三藩郡大隈村（現久留米市城島町あたり）に初代住職玄誓が開基建立されました。一六（二）寛永四（四）年潤三月、西本願寺より木仏（木像本尊）と寺号を授与されました。しかし、二六（四）正保四（四）年、久留米領（有馬藩）の政策により西本願寺末寺に対してすべて東本願寺末寺改派を命じました。改派しない寺院は追院を命じました。改派の命に従わなかった西福寺は国外に追院され山家村桃谷に寺基を移転し、山号を桃谷山と称しました。宝暦年間（二七（五）一七六三年）山家宿が拡張し新町という所に家々が建ち始めた頃に、現在地に移転し山号を桃溪山と改めています。筑前國熊風土記拾遺より

西福寺の本堂は二八（一）文政十二（二）年の台風により倒壊し、再建したものが現在の本堂であります。約一九〇年前、その本堂の礎に、西福寺門徒で日本画家の小山田松華さんの「鶴と水蓮」の襖絵六枚があります。

長崎街道筑前六宿のひとつ山家宿。江戸時代の郷土料理「白おこわ」があります。白おこわは冷水峠を越える時に峠の茶屋で食べられていた。腹持ちが良く素早く食べられるため、旅人達に評判だったそうです。西福寺ではこの「白おこわ」を元に少し手を加え、永代経や報恩講のお斎（食事）、除夜の鐘の食事として仏教婦人会の皆様が調理していただき提供しています。お参りの方からは「おいしかった」「また食べたい」と好評をいただいています。

当時、多くの旅人の姿を見届けた西福寺。お念仏の道場として「念仏の声を子や孫に」と人生の旅路をお念仏と共に願っています。

「福岡県筑紫野市山家の西福寺です」

題字：小山実千代（伯東寺坊守）

御笠組

戦争犠牲者
追悼法要語り継ぐ
今だからこそ

日時 2025年9月11日(木)

14:00 開会

会場 善光会館 筑紫会場

福岡県筑紫野市杉原6丁目1-1 TEL:092-921-4242

講師



一楽 真さん

【太田大学学長・大善院宗務本願職】

1957(昭和32)年、福岡県糸島市生まれ
 1980年神学専攻、1983年博士(神学)
 1984年九州大学助教授、1990年善光会館筑紫会場長
 1992年大分県立大学学長、2000年大分県立大学学長
 2003年大分県立大学学長、2010年大分県立大学学長

主催 善光会館会館長 阿部 隆雄 後援 筑紫地区連合会 事務局 筑紫会館 TEL:092-922-3716

戦後80年追悼法要を迎えて

戦争とは、不可思議としが言いようのないのちの繁がり(縁起)の中で生かされて生きていくのちを、一方的に奪い去り断ち切る行為です。宗祖親鸞聖人が出遇われた本願念仏は、すべての人々を浄土の世界に迎え取り、まことのいのちに目覚めさせたいという、私たちに等しく働きかけられている阿弥陀如来の本願を信じ、念仏を申すことによって仏となる教えです。

親鸞聖人の門下に宛てたお手紙には、本願念仏の教えを大切に生きること、お互い、やがて必ず仏に成るいのちを生きていく者同士として、心から敬い合い、つながり合いながら生きていくなさいと綴られています。

浄土真宗は平等のいのちの地平に立つ教えです。しかし、私たちの教団は先の戦争で、阿弥陀如来の願いに背き、国策に追随し、多くの門徒子弟を戦地に送り出した悔いすべき過去を抱えています。

戦争という人類の課題をいまだ克服出来ない時代の中で、再び戦争の惨禍をもたらさないために、世界の恒久平和を願う念仏者として歩み続けることを阿弥陀如来の尊前に誓い、すべての戦争犠牲者を追悼する法要を行います。

(本文は戦没者追悼法要の案内文より抜粋したものです。)

巡番報恩講に向けて

教円寺

今年十月二十五日(土)二

十六日(日)に「御笠組巡番報

恩講法要」をお勤めします教

円寺(筑紫野市塔原)です。

御笠組十八力寺(大野城

市・太宰府市・筑紫野市)によ

る巡番報恩講は十八年かけ

各寺を巡っていますが、昨今

のコロナ禍で、巡番報恩講も

二年順延となり、教円寺は二

十年振りに会所としてお迎

えする運びとなりました。

今回の法要では、二〇一九

(令和元)年よりご懇志を門

信徒の皆様にお願ひし、「記念

事業」として本堂外壁塗替

えご本尊・仏具等修復をさ

せていただきました。

法要のご講師は、清岡隆文

師(大阪教区島下組大光寺

前住職)です。

法要二日目には、稚児行列

も行いますので、宜しくお願

い致します。

多くの門信徒の皆様がご

参拝いただけるように、準備

して参りますので、どうぞ宜

しくお願い致します。

能登半島地震復興を願ひ

大願寺坊守 藤山明子(釋慈明)

令和六年十一月二十九日

に、能登半島の復興を願ひ、西

鉄太宰府駅にて御笠組坊守

会長・各寺仏婦会長と募金活

動に参加し、外国の観光客の

方・仕事中の方・大勢の方な

どに募金していただき、あり

がとうございました。



濱本 勝
ハマモト マサル

セレモニーサポート太宰府
〒818-0110 福岡県太宰府市緑丘5-7-18
TEL 092-929-5316
FAX 092-555-9822
携帯 080-1702-5221

遺品整理



誠心誠意を大切にします。もしものとき...



筑紫農業協同組合 (JA筑紫 共栄会 やすらぎ会館)

〒818-0057 福岡県筑紫野市二日市南2-1-3
TEL 092/924-3027/FAX 092/928-1394



組合員・NEWにじの会 会員募集!

西正寺若院仏前結婚式

西正寺 若院 山内大道
若坊守 山内笙子

西正寺若院 山内大道

二〇二五年五月十七日に阿弥陀如来様の御前で仏前結婚式をあげさせていただきました。これもひとえにご縁を繋いでくださった皆さま、協力していただいた門徒の方々のおかげです。

まだまだ二人とも若輩者ですが、手を取り合いながらこれからお寺、御笠組、そして浄土真宗の発展のために更に尽力してまいりますので、どうぞ温かい目でお育て頂きますようよろしくお願いいたします。

台掌

西正寺若坊守 山内笙子

このたび、ご縁をいただき西正寺の一員として迎えていただきました。自然豊かな鞍手郡小竹町にある明楽寺より参りました。まだまだ分

からないことも多く、日々学ばせていただいておりますが、温かく迎えていただき、心より感謝申し上げます。門徒の皆さま、地域の皆さまとのご縁を大切にしながら、精一杯務めてまいりますので、どうぞ末永くよろしくお願いいたします。皆さまにお目にかかれる日を、心より楽しみにしております。



お仏壇のまつお

新築分譲 仏壇仏具専門店

瀬高本店 TEL:0120-62-3721	久留米店 TEL:0120-46-5754
FAX:0944-62-5900	八幡工務店 TEL:0944-62-3721
大牟田本店 TEL:0944-57-7141	墓石展示場 TEL:0944-62-3721
春日店 TEL:0120-82-5620	http://www.matsubutsudan.com

大規模葬から家族葬まで…
もしもの時に安心な…互助会会員募集中

朝のがみ **善光会館** 筑紫会場

筑紫野市杉塚6丁目11-1 Tel 921-424280

れんけん修了者のつどい

れんけん修了者のつどい 会長 西福寺 門徒 原 十三日(釋麗日)

れんけん修了者のつどい。門徒推進員連絡協議会との第二回研修会、福岡市博物館の大塚功藝社による特別展「九州真宗の源流」を参加者二十六名で観覧しました。本展覧会では九州各地に大切に守り伝えられてきた真宗各派寺院の法宝物を一同に展覧し、念仏の教えから人々の心を惹きつけてきたのか、その歴史を学びました。ふだんは本堂や蔵のなかで大切に安置され間近に拝見する機会がない。彫像・影像・絵伝・名号・御文章など、九州各地の約七〇ヶ寺からご提供いただいた約一六〇件の法宝物をとおし、すべての人々を平等に救うために親鸞聖人が説かれた念仏の教えにあう機縁となりました。特に印象を受けたのは、鹿兒島・熊本の「一念仏禁制」かくれ念佛です。この事をはじめて知ったの

は、平成二十四年五月十九日、二十日の第二一五回中央教習「鹿兒島のかくれ念佛・探索」の開催に参加してからです。郡山町・吉田町2ヶ所を案内していただき、薩摩藩による真宗念佛禁制の厳しい弾圧がありましたが、私たちの先祖は信仰を捨てませんでした。一ヶ寺も真宗のお寺もなく、一人の僧侶もいない、鹿兒島の地で「講」という念佛者の集まりを結成し、信仰を護り抜かれたのでした。念佛禁制が解かれたのは、禁制より三〇〇年を経た明治九年九月五日「信教自由の令」が發布されてからのことです。私たちは先祖がいのちをかけて護り伝えられた浄土真宗のみ教えを子や子孫達へ受け継いでいけなければなりません。



はせがわ

つながります。心と、いのちと、人。

霊園・墓所・墓石のご相談も承ります。

太宰府インター店 太宰府インターグッディそば ☎092-503-0800



ルンビニープラザ

お仏壇の**コガ**

太宰府店

(駐車場完備)

太宰府市青葉台3丁目27-4 ☎(092)923-8080

門徒推進員としてのこれからの歩み

来光寺門徒推進員 中村千代加(釋淨加)

二十六年前、御笠組門徒推進員養成連続研修会を修了して思いがけず門徒推進員中央教修受講のご縁をいただきました。

今が阿弥陀様のお導きと感謝して、御笠組から他五名の方と一緒に京都本願寺(三泊四日)で第二八五回門徒推進員中央教修を受講させていただきました。講習内容は、テーマに沿って問題提起されたことを全国から集まった人たちが班に別れての話し合いが主でした。

初めて会った人たちはばかりなので、ぎこちなく様子を見ながら話していましたが、スタッフの方の配慮で飾ることのない話し合いができました。

「念仏者という生き方」のテ

マでは、門徒推進員は資格ではなく「生涯念仏者」としての自覚を持たなければならぬことを改めて心に刻みました。

一番緊張したのは決意表明式でした。スタッフの方に教えていただいた作法どおりにこれからの生き方の支えとなる決意の言葉を、阿弥陀様に誓えたときは胸がいつぱいになりました。

阿弥陀様に見守られる日々、阿弥陀様の願いにかなう生き方を心がけてお聴聞を大切にお念仏を続けて行きたいと思います。

私は中央教修を受講したことで目の前の雲が晴れたような心境になりました。御笠組の皆さまで連研を受講された方やこれから受講される方は、ぜひ門徒

推進員中央教修の受講を目指していただきたいと思います。

「生涯念仏者」としての歩みを進めていただきました皆さまに心より感謝申し上げます。



草苑 (SOUEN)

美しが丘 TEL 092-919-0880 FAX 092-919-0881
草苑 筑紫野市美しが丘北3丁目12-4

お仏壇の よーかどう

お仏壇・仏具のご相談はお電話を!

筑紫野市二日市中央通商店街
☎092-924-1111

御絵伝に学ぶ親鸞聖人のご生涯(二)

慶伝寺住職 久保龍道

浄土真宗の法要の中でも報恩講は親鸞聖人の法要なので、特に大事にされています。

報恩講では、念仏の教えを伝えてくださいました親鸞聖人のご苦労を偲び、ご事績を讃えるために御伝鈔を拝読し、本堂の余間に御絵伝を懸けています。

御絵伝の起りは、聖人のひ孫で本願寺第三代宗主・覚如上人が聖人の三十三回忌法要を機縁として、親鸞伝絵を作成されたことに始まります。

親鸞伝絵は絵と、絵の説明文のことば書きが交互に書かれています。その絵の部分だけ取り出し、四幅の掛け軸にしたのが御絵伝です。文章の方を御伝鈔というようになりました。

親鸞伝絵の横長い巻物の絵を切り取って、縦に一段ずつ重ねて作られたので、御絵伝は下の段から順に見

ていきます。

御絵伝、御伝鈔を使った伝道方法により今日まで多くの人々が親鸞聖人のご生涯を知ることができました。しかしながら、現代の私たちには御伝鈔の言葉は格調高く難解な箇所も多々あります。御絵伝も細部まで鑑賞する機会は、そうあるものではありません。

御笠組報では次号より、普段近くで見ることの無い御絵伝を写真とともに解説します。

これを機に、より一層親鸞聖人に親しみを持っていただけたら嬉しく思います。



写真は西蓮寺提供

～大切な人を送る時、私たちができること～

ご葬儀を真心込めてお手伝いします

有限会社 **筑紫葬祭**

葬儀式場 セレモニー 筑紫



本社/セレモニー 筑紫

〒818-0059 福岡県筑紫野市塔原東4丁目3-5

TEL 092-925-4444

FAX 092-925-4949



御墓石・記念碑・造園・石材加工・その他石工事
設計・施工
石のことなら気軽に御相談下さい。

有矢ヶ部石材

代表取締役 矢ヶ部 清隆

筑紫野市大字本道寺106-4 ☎ 924-5574

(FAX) 924-8212

本願力に
あひぬれば

お盆に思う

御笠組門徒推進員連絡協議会会長
入江一孝(釋現教)

一般の家庭では、お盆の三日間にご先祖様が還つてこられるという言い伝えによつて、お仏壇にお迎えするためのお飾りをされているところが多いようです。

お腰間を重ねていくうちに、浄土真宗のみ教えをとおして、そのようなお盆の迎え方が誤っていることに気づくことができました。

本山の毎日のお朝事(朝のお勤め)では、法話の最後に「拝読 浄土真宗のみ教え」が拝読されます。その「お盆」の項目では、次のように説かれています。

「亡くなられた先人たちの

である。」

ご恩に対し、あらためて思いを寄せるのがお盆である。浄土へと往生した人は、如来の願力によつてすみやかにさとりをひらき、大いなる慈悲の心をおこす。迷いのこの世に還り来たり、私たちを真実の道へ導こうと常にはたらかれるのである。仏の国に往生生まれていった懐かしい人たち。仏のはたらきとなつて、いつも私とともにあり、私をみまもってくださる。

このお盆を縁として、すでに仏となられた方々のご恩をよろこび念仏申すばかりである。ここでお伝えいただいていますように、亡き方々はお盆の間だけ私のそばにおられるのではなく、いつも私とともにあり、私をみまもってくださいながら、真実の道へ導こうとはたらいてくださっているのです。

以前、「千の風になつて」という歌が流行りましたが、本願寺出版社から出ています冊子「千の風」大切な人を失ったあなたへには、また別の歌が紹介されています。

ある法要に参詣した時、布教使の方が、突然その歌を歌

い始められました。その中に次のような歌詞がありました。

「あなたは限りないのちに包まれてる だから 泣かないで 泣かないで 私はずの風になつて いつでも あなたのそばにいる」

その後、お浄土へと往生された方は、仏のはたらきとなつていつも私を見護り、導いてくださっていますよ、と説いてくださいました。

今年のお盆も、先立たれたご方々を偲びながら過ごしたいと思います。

合掌

御笠組ホームページ
<http://www.mikasaso.com/>

ビフォー・ライン・福岡 こころの電話 092711-1432 毎週月曜日・金曜日 祝日は除く 午後1:00～午後4:30 プライバシーは守ります (福岡市内)	法律相談 初回相談無料 毎週月曜日・金曜日 午前8時半～午後6時 ※弁護士が常駐しています 相談専用電話 (092)761-0334 ○プライバシーは必ず守られます。 問い合わせ 福岡県民法律事務所 ☎(092)761-0334
--	--